

平成28年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	豊かな産業のあるまちの形成
基本方針	活力ある商工観光業を振興するまち
基本施策名	観光の振興

	所属	職名	氏名
作成者	商工観光部	課長	望月 淳利
評価者	商工観光部	部長	曾根原 悦二

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	本市は、雄大な北アルプス連峰の麓に広がる豊かな田園風景や豊富な湧水、温泉や美術館、そして、昨年世界かんがい施設遺産に登録された拾ヶ堰をはじめとした歴史的・文化的遺産など、多様な地域資源を有しています。 昨年の観光地利用者統計では、訪日外国人を含め、対前年比プラス2.2%増の年間502.8万人の旅行客が本市を訪れています。しかしながら、順調に増加する外国人旅行者の宿泊を加えても、観光宿泊者数は停滞し、観光消費額も伸び悩んでいることから、「松本・上高地」、「大町・黒部ダム」といった近隣の有名観光地と組み合わせ、日帰り型、立ち寄り型として利用される傾向が強いと考えられます。 今後は、知られざる新たな観光資源の洗い出しと創出・受入環境の整備を行い、安曇野市の魅力をより深く知っていただき少しでも長く滞在していただくための取り組みや、日帰りから宿泊につながる取り組みを進め、通過型から宿泊へと滞在交流型観光による地域づくりが求められています。
基本方針 (目指すべき方向性)	安曇野を体感できる体験・参加型メニューを提供することにより、来訪者に「安曇野暮らし」を提案します。また、従来の観光事業者の枠を超えた連携・交流により、他産業への経済効果を波及させ、地域の活性化を図ります。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
観光波及効果 (億円/年)	億円	211.7	215.4			184.1	85.4	停滞	観光交流促進課
来訪者満足度で「大変満足」と回答の割合	%		25			39	156	予定以上	観光交流促進課
再来訪意向で「大変そう思う」と回答の割合	%		25			52	208	予定以上	観光交流促進課

施策指標の進捗状況と分析	国の加速化交付金を活用し設立した「安曇野市海外プロモーション協議会」では、訪日外国人の誘客を推進するため、外国人モニターツアーを行いました。外国人目線で市内観光資源や受入環境について評価いただき「安曇野市外国人誘客のための海外戦略骨子」として報告され、次年度はこれを具現化してまいります。 また、「信州安曇野ハーフマラソン」等の交流イベントの開催を通じ新たな安曇野ファンの創出や、「安曇野しゃくなげの湯」開業による穂高温泉郷周辺への経済波及効果などをより促進するためにも、観光素材の掘り起こしや現在のコンテンツのブラッシュアップが急務です。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位: 円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化	
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性
1	0107190	安曇野ブランド創出事業	ブランド推進担当			7,379,056	4,205,000	3,975,000	15,559,056	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	
2	0107210	天蚕センター維持管理事業	ブランド推進担当			3,828,900	4,231,000		8,059,900	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
3	0107220	天蚕振興事業	ブランド推進担当			1,240,070	2,205,000	3,351,000	6,796,070	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	
4	0107230	来訪者受入環境整備事業	ブランド推進担当			7,103,085	17,172,000	6,572,000	30,847,085	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	○
5	0107240	観光推進組織支援等事業	ブランド推進担当			57,787,800	54,262,000	52,850,000	164,899,800	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	
6	0107250	観光プロモーション事業	ブランド推進担当			16,407,533	27,465,000	26,158,000	70,030,533	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	
7	0107260	広域団体連携事業	ブランド推進担当			6,825,700	8,059,000		14,884,700	定型業務	新規	期限なし	現状維持	
8	0107270	観光イベント事業	観光交流促進係			45,405,786	36,723,000	40,223,000	122,351,786	政策的業務	継続	期限なし	現状維持・事務改善	
9	0107280	しゃくなげの湯周辺整備事業	拠点維持整備係			149,175,744	339,938,000	162,250,000	651,363,744	ハード(継続)	継続	H30	現状維持	
10	0107290	三郷スカイライン展望台周辺整備事業	拠点維持整備係			13,692,400			13,692,400	ハード(継続)	継続	H28	現状維持・事務改善	
11	0107300	温泉施設経営管理等事業	拠点維持整備係			16,146,980	6,664,000		22,810,980	施設の管理運営	継続	H34以降	現状維持	
12	0107310	廃線敷施設維持点検管理事業	拠点維持整備係			2,100,043	3,089,000		5,189,043	施設の管理運営	継続	H34以降	現状維持・事務改善	
13	0107320	登山道等整備事業	拠点維持整備係			11,056,487	19,562,000		30,618,487	施設の管理運営	継続	H34以降	現状維持	
14	0107330	観光施設公園管理事業	拠点維持整備係			54,154,018	36,977,000		91,131,018	施設の管理運営	継続	H34以降	現状維持・事務改善	
15	0107340	合戦小屋トイレ整備事業	拠点維持整備係			1,080,000	46,036,000		47,116,000	ハード(継続)	継続	H29	現状維持	
16	0107360	三股駐車場トイレ整備事業	拠点維持整備係			648,000	13,598,000		14,246,000	ハード(継続)	継続	H29	現状維持	
17	0107380	かじかの里トイレ整備事業	拠点維持整備係			486,000			486,000	ハード(継続)	継続	H31	現状維持	
18	0107390	登山者用駐車場整備事業	拠点維持整備係			3,294,000		5,022,000	8,316,000	ハード(継続)	継続	H30	拡充(現予算内)	
19	0107410	自然交流センター「せせらぎ」の運営管理事業	拠点維持整備係			3,356,640	5,559,000		8,915,640	施設の管理運営	継続	H34以降	拡充(現予算内)	
20	0108290	御宝田水のふるさと公園の管理事業	拠点維持整備係			724,569	1,847,000		2,571,569	施設の管理運営	継続	H34以降	現状維持・事務改善	
21	7101010	有明荘・長峰荘運営管理事業	拠点維持整備係			28,664,798	16,204,000		44,868,798	施設の管理運営	継続	H34以降	拡充(現予算内)	
合計						430,557,609	643,796,000	300,401,000	1,374,754,609					

平成28年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	豊かな産業のあるまちの形成
基本方針	活力ある商工観光業を振興するまち
基本施策名	観光の振興

	所属	職名	氏名
作成者	商工観光部	課長	望月 淳利
評価者	商工観光部	部長	曾根原 悦二

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	<p>地域ブランドづくりに繋がる6つのプロジェクト事業を市民と実施し、安曇野林檎ナポリタンでは地方予選を勝ち抜くなど、ブランド構築に寄与しています。天蚕振興事業においては新製品開発に取り組む後継者が育成されつつあり、これに対応した圃場を拡張しながら消費者ニーズに合う価格帯の新製品開発が期待されます。また、来訪者受入環境整備については、海外誘客プロモーション協議会を組織しモニターツアーによる現状分析がなされるなど、海外誘客戦略の課題と方向性が示され、次年度はこれを具現化してまいります。本市の観光振興を支える観光情報センターそして魅力ある着地型旅行商品の開発・販売業務を担う観光協会についてはDMO化への取り組みが待たれています。観光消費額が伸び悩む中、新しい切り口の交流イベント等の事業展開に向け取り組みを進めます。</p> <p>観光拠点整備事業においては日帰り入浴施設「しゃくなげの湯」が開業。順調な滑り出しを見せています。引き続き観光施設の適正な維持管理に努め来訪者が快適に安曇野に滞在していただくよう事業継続が必要です。</p>
重点化事務事業の考え方	<p>観光客は増加してはいるが、観光消費額は伸び悩んでおり、地域の観光素材を再発見し、磨き光らせるとともに、海外誘客戦略により官民連携による受入環境整備を促進し賑わいの創出と交流人口拡大を図る必要があります。</p>
縮減・廃止事務事業の考え方	<p>交流人口拡大による観光消費喚起の視点から、市外・県外からの来場が少ない地域イベントについて縮減していく必要があります。</p>
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	<p>専用HPの構築やロケ支援事業を促進し効率的な情報発信に努めていく必要があります。海外誘客戦略については国の加速化交付金推進事業を活用し海外に向けたプロモーションを具現化してまいります。</p>